

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	星糞峠縄文森林公園整備事業
事業費		200,000 円 (うち支援金 133,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

星糞峠縄文森林公園は、ミズナラやカシワなどの広葉樹が主体となっており、ここに通じる遊歩道の整備や公園等の整備として、除間伐等を継続して行っている。

(2) 本事業の目的

公園整備を継続して行うことにより、森林に触れる機会の提供や、市町村を超える広域的な利用を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 : 長和町大門追分地籍

(2) 対象者 : 土地所有者 長和町

(3) 実施方法 : 町内林業業者へ委託

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 29 年度～令和 4 年度)

②令和 3 年度 実績 遊歩道の整備 (除間伐と伐採後の集積木の破砕処理)

事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

星糞縄文森林公園を県産材で整備することにより、当地域の自然環境の歴史を伝えることになり、また、県産材産材の良さをPRし、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる。

(2) 継続性

平成25年度の全体計画設計に基づき、継続的に星糞縄文森林公園の整備を行ってきた。昨年度から補助金の減額により事業を縮小し、遊歩道周辺を優先として立枯れた樹木及び支障木の徐間伐を行ってきた。

令和3年度についても継続して遊歩道周辺の徐間伐事業を行う。

(3) 普及性

この公園では、史跡の見学や開催イベントに参加する方が全国から訪れるため、公園整備は信州の森林に触れる機会の提供や広域的な利用に結びついている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

公園利用者の安全を確保するとともに、美しい森の景観整備が進んだ。

(2) 課題

樹齢80年を超える太い松の木の立枯れが進んでおり、公園利用者の安全確保が大きな課題とされている。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

当初の森林整備計画書に従って、森林の状況を観察しながら、公園利用者の安全確保と森林の自然に触れる環境整備を継続的に行う。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)